

令和7年度 こども園（保育園）関係者評価
園評価・評価委員最終評価シート
子育てセンターこまつ

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和 8年 2月 5日 13:30 ~14:30 (木)

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

不思議に思う心を中心に子どもたち一人一人の率直な驚き、疑問、夢を大切に育みます。

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

自然と人とのかかわりで育つもの 不思議だな やってみたい
『不思議と思う心』に寄り添い、子ども達一人一人の率直な驚き、疑問、夢を大切に全職員が子ども達の育ちに良い環境となるよう努めます。生きる力を育むために、7つの活動を展開している他に、あそびのコーナーを充実させ、その中で子どもたちが四季を通して様々な実体験をしていき、「気づき」や「主体性」「興味」を引き出し、次に繋がる環境を整えていきます。保護者と共に成長した喜びを共有できるよう、あそびのコーナーの計画を立てながら園の様子や子どもの姿をブログや掲示等を通して発信し、情報共有していきます。また子どもの育ちの学びを深め、協働的な連携を図りながら実践していきます。地域においては人とのつながりを深めること、また保護者に提供している情報やあそび等、園の資源を掲示板や親子ひろば、さらには情報発信の場を広げていきます。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価		評価委員最終評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由（評価委員から）
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	・グランドデザインや重点目標共に会議や研修等で確認し振り返ることができている。 ・重点目標を保育の主軸とした上で教育・保育テーマや教育・保育計画を作成している。	4	・理念や重点目標が分かりやすく示し共有されていて、意識した取り組みをしている。 ・研修やカンファレンスを通してあしなみを揃えた保育が、子どもにも伝わっていると感じる。 ・食育に力を入れていることが、保護者から支持されている。子どもの姿から実体験を通じた学びが、生きる力に繋がっていることが分かる。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	4	・年間指導計画を元に、月案、週案と計画を立て、遊びや季節の変化と共に環境を整えている。 ・PDCAサイクルを意識し、フロア、コーナーのカンファレンス内で話し合い共有し実践に繋げている。	4	・年度初めの保護者説明会で年間計画について説明があり、計画、実践がされていることが分かり、安心できる。 ・コーナーの充実の為、子どもの成長に合わせた半歩先をいく活動がされている。そして、その活動が親子の会話にも繋がっていると感じる。

<p>Ⅲ. 子どもにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あなたらしさが認められる 2. 安心してすごせる生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自己決定を尊重し選べるコーナー遊びを行っている。また子どもからの発信の遊びを取り入れたり膨らませたりしながら、わくわくする保育に繋がっている。 ・日々の生活の中で異年齢での自然な関わりを大切にしているため、互いに成長することができている。 	4	<p>子どもが安心して、のびのびと、自分らしく過ごせる環境があり、様々なことに挑戦する意欲に繋がっている。異年齢の関わりから刺激を受け、園での経験が子どものわくわくする学びとなっている。自然の中で育つと、様々な気付きや学びがある。主体的に活動する工夫、協働的に活動できる異年齢での生活があって良い。</p>
<p>Ⅳ. 家族にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に話ができる 2. 教育・保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 教育・保育を通して地域に親しむ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参加、懇談会、ファミリンピックやスナールコンサート等保護者が参加できる活動を工夫し、日々子どもたちが楽しんでいる遊びを取り入れ体験してもらい共有ができた。 ・ブログ、掲示やおまかせ等で園の情報や様子がいつでも得られる。一方、保護者の知りたい情報や園が伝えたいことが伝わっているのか、保護者とのコミュニケーションの中から汲み取り、確認していく必要がある。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が参加できる行事や活動があり、子どもの姿を見ることができた。 ・懇談会での、遊びの体験は、楽しいことはもちろんだが保護者の交流となり良い時間であった。 ・情報が分かりにくいことについては、配信した意図も併せて掲示で知らせていく工夫は必要である。 ・様々な状況や思いを抱えている、保護者の心も汲み取りながら、対応していく努力を続けていってほしい。
<p>Ⅴ. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容及びよくわかる 3. 困った時に頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板の工夫、ぬくもり通信(親子ひろばのおたより)に園のコーナー遊びの内容をよりわかりやすく記載したことで来園に繋がりが、リピーターが増えている。 ・利用者から他利用者へも親子ひろばの情報伝わり来園に繋がっている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板を見ると、内容が分かりやすく開かれた園であることが分かる。参加した親子が園の遊びを楽しみ満足度が高くリピートや口コミにも繋がっている。 ・様々な地域から登園していて、地域に向けた情報発信に難しさがあると思うが、地域を巻き込みながら工夫して取り組んでいる。
<p>Ⅵ. 保育者にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性がいかされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	4	<p>職員間で互いの良さや強みを認め、それらを保育に活かすことができている。また園内研修やカンファレンス等で協働的な学びの時間を計画的に設け、実践に繋がっていった。研修・部会等に参加した際は職員会議で報告、共有を図っている。</p> <p>様々な年代の職員がいることで伝承遊びや様々な特技が教育・保育の中、新世代に伝承されている。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や研修を定期的実施している。園の雰囲気良く、経験のある職員がいるため安心できる。また、子どもの成長を温かく見守ってくれている。 ・コミュニケーションについて意見があったが、他のクラスの職員から声を掛けてもらい、相談にも丁寧に対応してくれていると感じている。 ・職員の年齢が違っても、助け合い刺激し合い信頼関係を築く中で、安心して育つことに繋がっている。